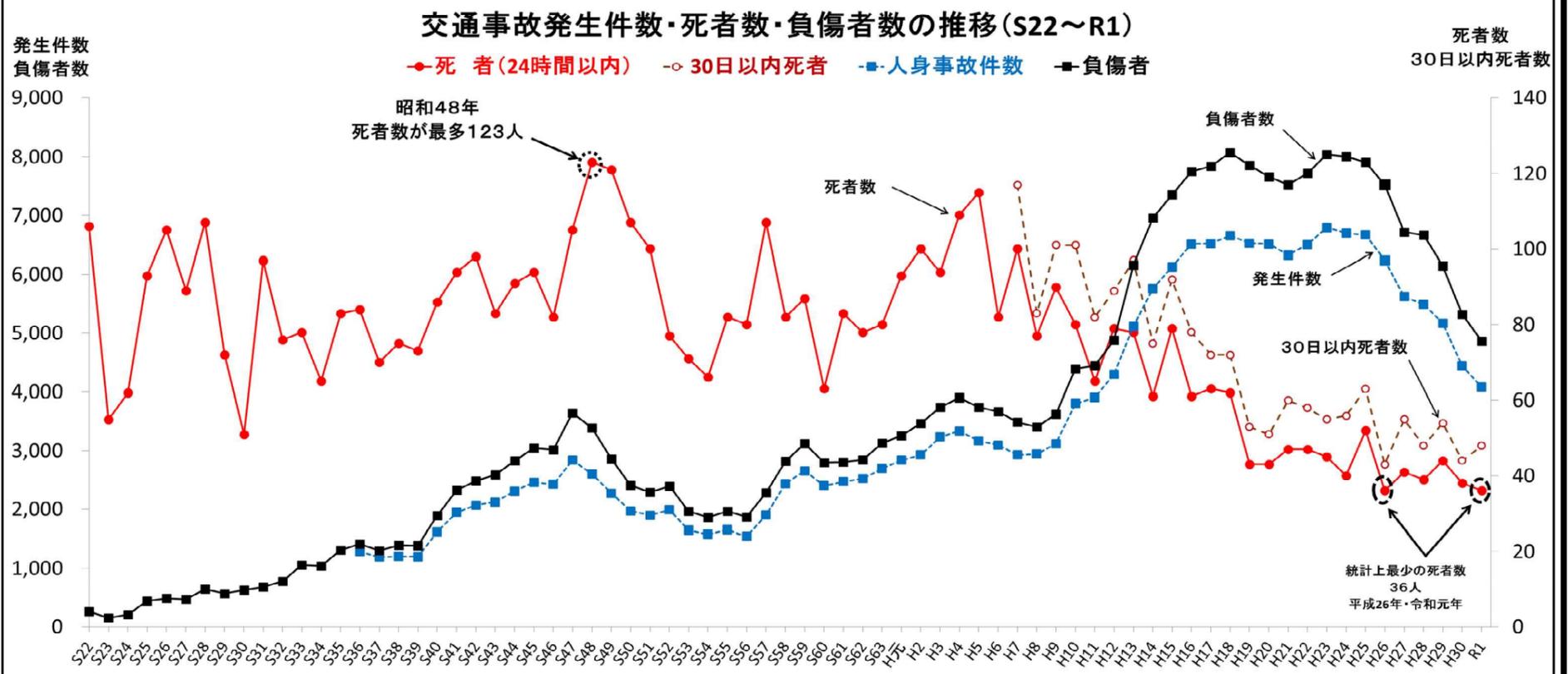


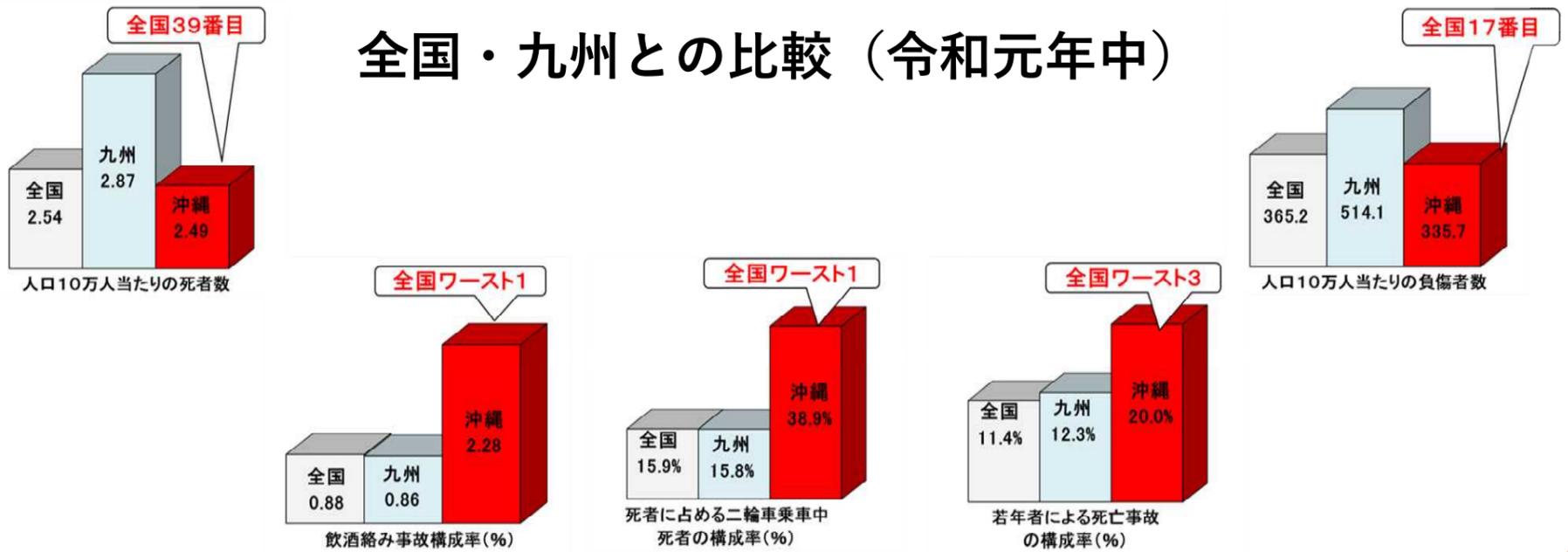
# 【令和元年版】交通白書ダイジェスト・トピック

## 沖縄県の交通事故の発生状況



令和元年中の人身事故の発生件数は、4,075件で前年と比べ360件（8.1%）減少し、8年連続（平成24年以降）の減少となりました。また、死者数は36人で前年と比べ2人（5.4%）減少し、統計史上最少（平成26年）と同数となりましたが、30日以内死者は48人で前年と比べ4人（9.1%）増加しました。

### 全国・九州との比較（令和元年中）



#### 全国・九州比較

県内の交通事故による死者は、人口10万人当たりで全国39番目（2.49人）、負傷者は全国17番目（335.7人）ですが、交通事故発生件数は、全国では15年連続で減少し、本県は8年連続の減少となりました。

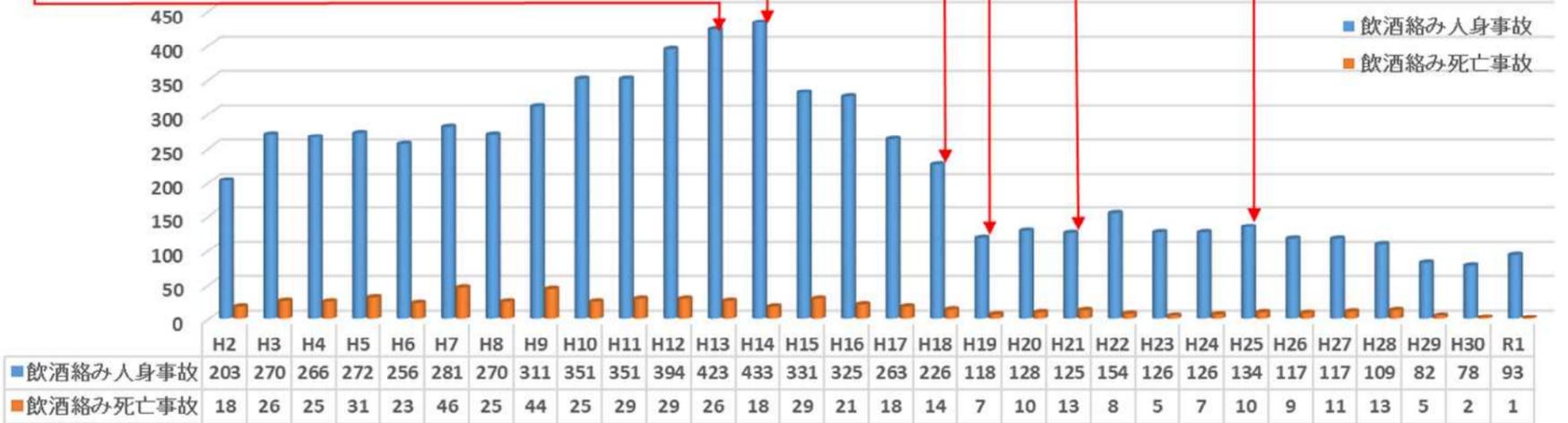
県内の交通事故の特徴としては、

- 交通事故に占める飲酒絡み事故の構成率が高く、全国ワースト1
- 死者に占める二輪車乗車中死者の構成率が高く、全国ワースト1  
（負傷者に占める二輪車乗車中の負傷者の構成率は全国6番目）
- 若年者（16歳～24歳）が原因となった死亡事故の構成率が高い（全国ワースト3）
- 全事故の56.1%が交差点において発生（全国平均54.9%より高い）

等が挙げられます。

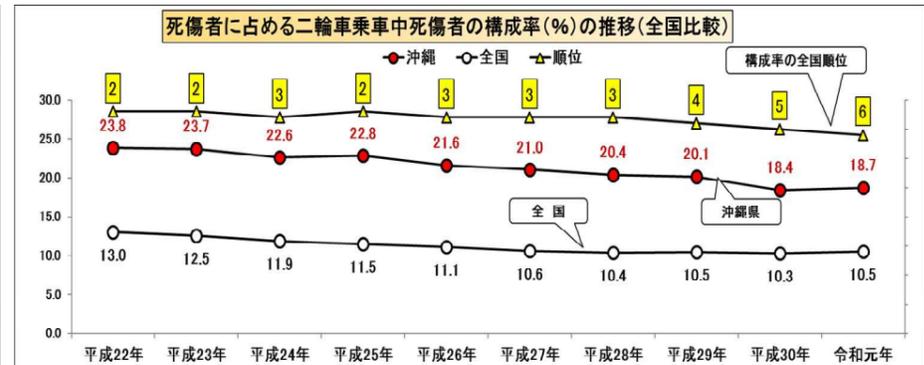
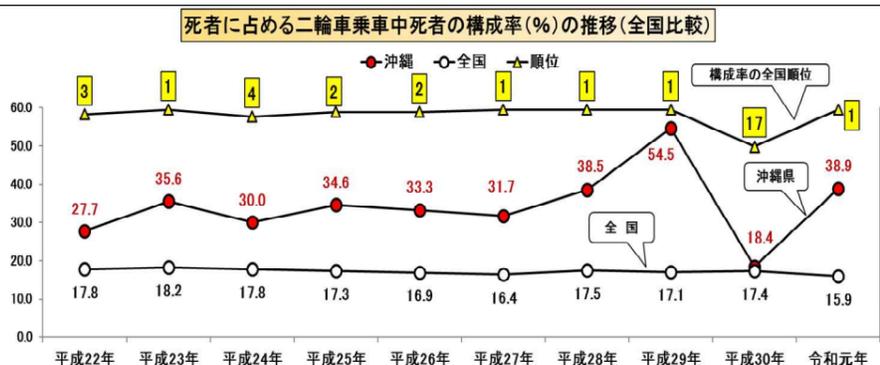
# 飲酒絡み事故の発生推移と罰則強化

H13年11月 危険運転致死傷罪の新設  
 H14年6月 飲酒運転罰則強化（呼気0.15ミリグラムも検挙対象）  
 H18年8月 福岡県3幼児死亡事故 伊平屋村飲酒死亡事故発生  
 H19年9月 飲酒運転等運転者対策と罰則強化（酒酔い5年以下100万円以下（C））  
 H21年6月 悪質危険運転者対策、欠格期間の延長、酒気帯び基礎点数引き上げ  
 H21年10月 沖縄県飲酒運転根絶条例施行  
 H25年11月 自動車運転致死傷行為処罰法 アルコール等影響発覚免脱罪の新設



県内の飲酒絡み事故は、飲酒運転の罰則強化や飲酒運転根絶条例施行後、減少傾向で推移していましたが、令和元年中は6年振りの増加となりました。また、人身事故に占める飲酒絡み人身事故の構成率は、3年振りに全国ワースト1に転落しており、依然として高い水準で推移しています。

# 二輪車乗車中の死傷者（死者）の推移と二輪車事故多発区間



年 別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	増減数	増減率	指数
二輪車関連事故発生件数	1,875	1,972	1,881	1,891	1,689	1,472	1,419	1,278	1,030	945	-85	-8.3	50
死者数	13	16	12	18	12	13	15	24	7	14	7	100.0	108
負傷者数	1,838	1,902	1,807	1,800	1,621	1,408	1,353	1,223	981	903	-78	-8.0	49
うち重傷者	369	346	333	304	283	292	272	268	211	173	-38	-18.0	47
うち軽傷者	1,469	1,556	1,474	1,496	1,338	1,116	1,081	955	770	730	-40	-5.2	50

## 二輪車関連の死亡事故が多い路線区間【過去3年（平成29年～令和元年）】

路 線	区 間	警察署	発生件数	死亡重傷事故率		
				死 亡	重 傷	軽 傷
1 国道58号	喜名交差点（読谷村）～嘉手納町と恩納村境界	嘉手納署	4	3	1	100.0
2 国道58号	瀬良垣北交差点～恩納村と名護市境界	石川署	13	3	4	53.8
3 県道70号線	国道331号境界～東村と国頭村境界	名護署	4	2	1	75.0
4 国道58号	嘉手納町と恩納村境界～仲泊交差点	石川署	6	2	2	66.7
5 県道46号線	寄 宮 ～ 国 場 十 字 路	那覇署	15	2	13	13.3

## 二輪車関連の人身事故が多い路線区間【過去3年（平成29年～令和元年）】

路 線	区 間	警察署	発生件数	死亡重傷事故率		
				死 亡	重 傷	軽 傷
1 国道329号	那覇市と南風原町境界～与那原町と西原町境界	与那原署	65		17	26.2
2 県道82号線	安謝交差点～儀保交差点	那覇署	54	1	15	29.6
3 国道330号	我如古交差点～中原交差点（赤道1丁目）	宜野湾署	51		8	15.7
4 国道58号	泊交差点～那覇市と浦添市境界	那覇署	42		6	14.3
5 国道58号	城間交差点～浦添市と宜野湾市境界	浦添署	37		9	24.3
6 国道58号	久茂地交差点～泊交差点	那覇署	37	1	4	13.5

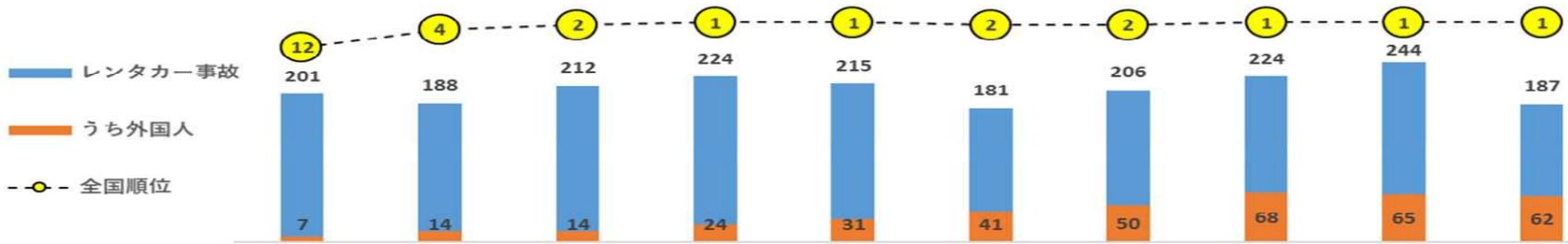
※ 路線区間は、任意に区分しているため、区間毎の距離は異なります。  
 ※ 件数が同数の場合は、死亡重傷事故率が高い路線区間を上位としています。

交通事故死者に占める二輪車乗車中の構成率は全国ワースト1、死傷者に占める二輪車乗車中の構成率は全国ワースト6となっており、過去10年の推移を見ても高い水準で推移しています。

また、過去3年間で二輪車関連事故が最も多い路線区間は、死亡事故が国道58号の喜名交差点（読谷村）から嘉手納町と恩納村境界、人身事故が国道329号の那覇市と南風原町境界から与那原町と西原町境界となっています。

# レンタカーの外国人事故状況

レンタカー（第1当）事故に占める外国人運転手の構成



	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
レンタカー事故	201	188	212	224	215	181	206	224	244	187
うち外国人	7	14	14	24	31	41	50	68	65	62
構成率	3.5	7.4	6.6	10.7	14.4	22.7	24.3	30.4	26.6	33.2
全国構成率	2.2	2.1	2.3	2.8	3.1	3.4	4.2	5.5	5.3	6.6
全国順位	12	4	2	1	1	2	2	1	1	1

国籍・地域別・レンタカー（第1当）事故発生推移

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	増減数	増減率	構成率
日本人	県外	139	107	142	138	116	88	105	109	117	66	-51	-43.6	35.3
	県内	52	63	53	61	67	50	50	44	61	56	-5	-8.2	29.9
アジア	中国	7	9	5	10	11	16	16	22	12	7	-5	-41.7	3.7
	台湾	0	0	1	6	5	9	13	19	31	30	-1	-3.2	16.0
	韓国	0	2	4	6	7	14	16	23	17	14	-3	-17.6	7.5
	その他	0	2	4	0	4	0	2	1	2	4	2	100.0	2.1
北米	アメリカ	0	1	0	2	1	0	1	0	1	2	1	100.0	1.1
	カナダ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.0
南米	ブラジル	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	100.0	0.5
ヨーロッパ	ヨーロッパ	0	0	0	0	1	2	2	2	2	4	2	100.0	2.1
米軍構成員等	米軍構成員等	3	4	3	1	1	2	1	3	1	3	2	200.0	1.6
合計		201	188	212	224	215	181	206	224	244	187	-57	-23.4	100.0

※ 上記のレンタカー事故は、観光客以外（県内居住者の外国人等）がレンタカーを運転して第1当事者となった場合を含む事故件数。

令和元年中のレンタカー事故は、187件で前年と比べ57件減少、うち外国人は62件で33.3%を占めています。また、過去10年のレンタカー事故は増減しながら約200件前後で推移していますが、外国人は増加傾向となっています。

日本人を除く、国籍・地域別では、台湾が最も多く（令和元年中 30件（16.0%））次いで韓国が（令和元年中 14件（7.5%））などとなっています。

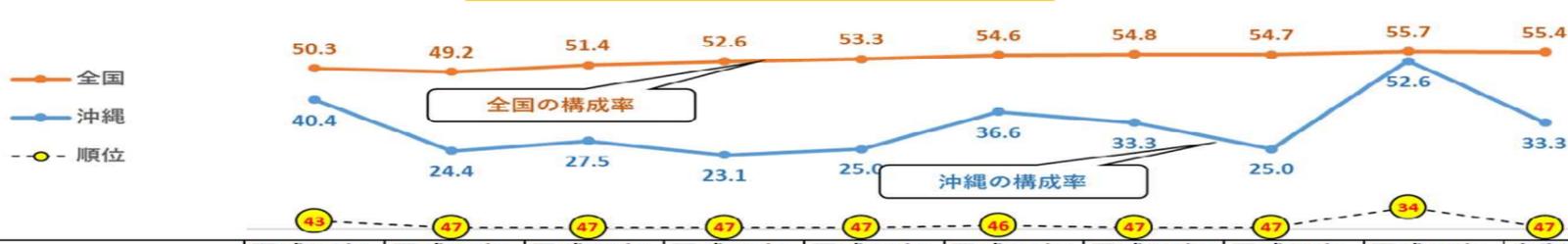
# 高齢者事故の推移と全国比較

高齢者（第1当）死亡事故の構成率の推移



	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
死亡事故	46	43	40	50	34	39	38	40	37	35
高齢者事故 (65歳以上)	65～69歳	1	1	2	4	2	2	4	3	2
	70～74歳	4	1	2	2	1	2	1	3	6
	75歳以上	5	6	1	4	1	2	3	1	2
	合計	10	8	5	10	4	7	6	6	12
構成率	21.7	18.6	12.5	20.0	11.8	17.9	15.8	15.0	32.4	28.6

死者に占める高齢者の構成率の推移



	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
死者	47	45	40	52	36	41	39	44	38	36
うち高齢者 (65歳以上)	自動車	6	5	1	4	2	3	2	4	6
	二輪車	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	自転車	1	1	1	2	1	1	1	1	2
	歩行者	12	5	9	6	5	12	11	6	10
	計	19	11	11	12	9	15	13	11	20
構成率	40.4	24.4	27.5	23.1	25.0	36.6	33.3	25.0	52.6	33.3

令和元年中の高齢運転者による死亡事故は、10件発生し、前年と比べ2件減少、うち70歳以上は8件となっています。

死亡事故に占める高齢者事故は28.6%となり、全国26番目で全国平均（29.7%）より僅かに低くなっています。

また、令和元年中の高齢者の死者は、12人で前年と比べ8人減少、うち自動車運転中が6人で、最も多くなっています。

死者に占める高齢者の構成は33.3%となり、全国で最も低くなっています。

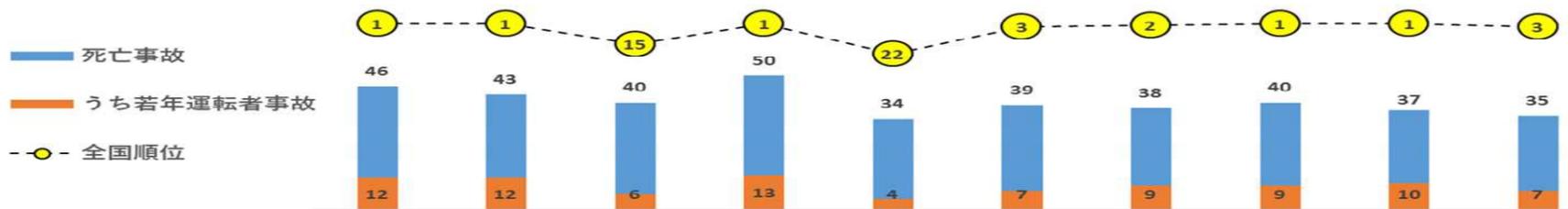
# 子供・高校生の死傷者数・若年者事故の推移

子供・高校生の死傷者数の推移



	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
死傷者	7,769	8,090	8,043	7,958	7,559	6,755	6,700	6,189	5,356	4,897
うち子供	700	671	631	584	667	533	500	463	411	335
構成率	9.0	8.3	7.8	7.3	8.8	7.9	7.5	7.5	7.7	6.8
うち高校生	325	317	299	274	265	236	202	193	196	150
構成率	4.2	3.9	3.7	3.4	3.5	3.5	3.0	3.1	3.7	3.1

若年運転者（第1当）死亡事故発生状況と構成率全国比較



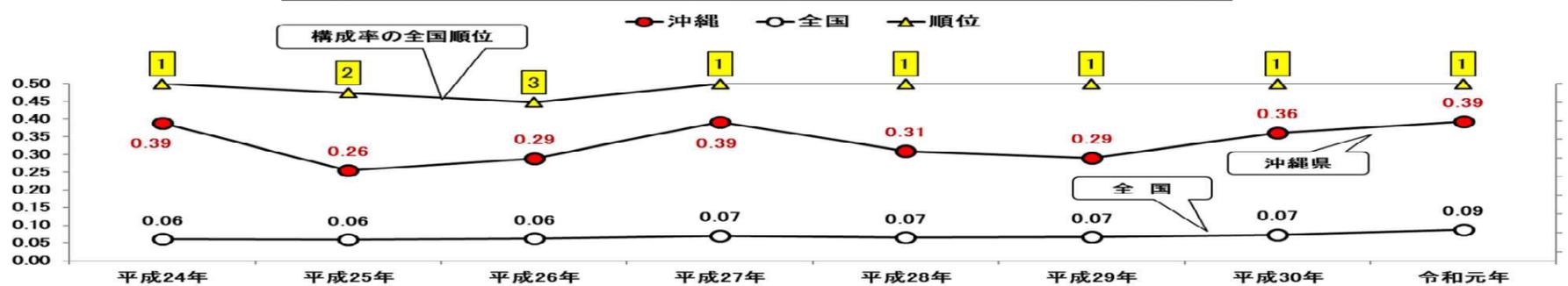
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
死亡事故	46	43	40	50	34	39	38	40	37	35
うち若年運転者事故	12	12	6	13	4	7	9	9	10	7
構成率	26.1	27.9	15.0	26.0	11.8	17.9	23.7	22.5	27.0	20.0
全国構成率	13.3	14.0	13.0	12.7	12.2	12.2	12.1	10.9	10.3	11.4
全国順位	1	1	15	1	22	3	2	1	1	3

令和元年中の子供（中学生以下）の死傷者は、335人で前年と比べ76人減少、高校生の死傷者は150人で前年と比べ46人減少となっています。また、死傷者に占める割合は、子供が6.8%で全国6番目、高校生が3.1%で全国33番目となっています。

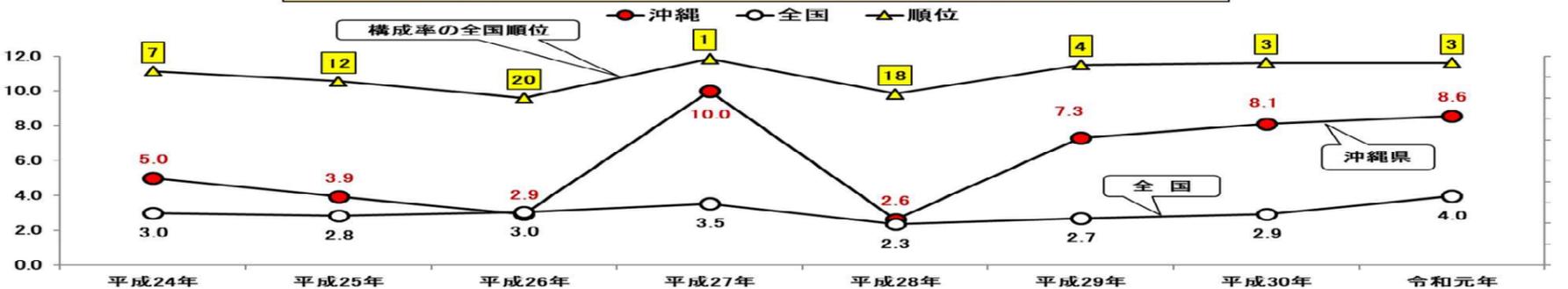
令和元年中の若年運転者による死亡事故は、7件で前年と比べ3件減少となっています。また、死亡事故に占める割合は20.0%で全国で3番目に高い構成率となっています。

# 路上横臥事故の発生推移と全国比較

人身事故に占める路上横臥事故の構成率(%)の推移(全国比較)



死亡事故に占める路上横臥事故の構成率(%)の推移(全国比較)



年 別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	増減数	増減率	指数
路上横臥事故	-	-	26	17	18	22	17	15	16	16	0	0.0	62
死亡事故	-	-	2	2	1	4	1	3	3	3	0	0.0	150
重傷事故	-	-	10	6	5	9	10	6	3	5	2	66.7	50
軽傷事故	-	-	14	9	12	9	6	6	10	8	-2	-20.0	57

※ 路上横臥事故は、道路上に泥酔、居眠り等で横たわっていた時（座り込んでいる場合も含む。）に発生した事故件数。

※ 路上横臥事故の統計は、平成24年から集計しているため、平成23年以前の統計はない。

令和元年中の路上横臥事故は、16件で前年と同数となっており、うち死亡事故は3件となっています。

また、人身事故に占める割合は0.39%で全国で最も高く、死亡事故に占める割合は8.6%で全国で3番目に高くなっています。